

# 同志社中学突破カリキュラム

各学年の学習ポイント

入試データとポイント

学習計画

対策の特徴

## ◎ 年間スケジュール

	2月～7月	8月～1月	2月～4月	5月～8月	9月～11月	12月～1月						
学校行事	期末テスト 三者面談											
トライ対策スケジュール	5年 基礎力養成期		6年									
			応用力養成期	発展力養成期	実践力養成期							
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>算: 四谷大塚予習シリーズ5年生上、計算と一行問題集5年生上</li> <li>国語: 四谷大塚予習シリーズ5年生上、漢字の学習5年生上、ことばの練習帳5年生上</li> <li>社会、理科: 四谷大塚予習シリーズ5年生上、サブノート</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>算: 四谷大塚予習シリーズ5年生下、計算と一行問題集5年生下</li> <li>国語: 四谷大塚予習シリーズ5年生下、ことばの練習帳5年生下</li> <li>社会、理科: 四谷大塚予習シリーズ5年生下、サブノート</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>算: 四谷大塚予習シリーズ6年生上</li> <li>国語: 四谷大塚予習シリーズ6年生上</li> <li>社会、理科: 四谷大塚予習シリーズ6年生上、サブノート</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>算: 四谷大塚予習シリーズ6年生下、近畿の中学入試問題集(発展)</li> <li>国語: 四谷大塚予習シリーズ6年生下、近畿の中学入試問題集(発展)</li> <li>社会、理科: 四谷大塚予習シリーズ6年生下、近畿の中学入試問題集(発展)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>近畿の中学入試問題集(発展)</li> <li>算: 出る順図形、計算</li> <li>国: 出る順漢字、言葉</li> <li>社会: 予習シリーズ6年生上、サブノート</li> <li>理: 近畿の中学入試問題集(発展)、出る順理科</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>同志社中の過去問、今までの教材のやり直し</li> </ul>	
ポイント	入試本番で70%とる! 他の私立中と違い4科目の配点と同じであるため、算数や国語の重要性が相対的に低い。 社会を甘く見ると合格は厳しい。国語は短歌・詩の出題頻度が高い!											

## ◎ こういう生徒にお勧め!

同志社という憧れの大学にいきたい。地域の公立校では不安だ  
 [勉強の習慣を付けたい]  
 塾に行っているだけで理解しないで疲れて帰ってくる。家で勉強しない。  
 [弱点の克服]  
 苦手な科目がある。勉強しても成績が上がらない。  
 [同志社のための対策]  
 理科と社会の重要性は他の中学よりも相対的に高いのでしっかりケアする。

## ◎ 対象エリア

対象学年: 小学4年～6年生  
 対応地域: 京都府  
 指導期間: お申し込み時から受験日の月末

## ◎ 対策の特徴

特徴1  
 合格するのは容易でないが入学後は同志社大への内部進学は比較的しやすい傾向。  
 特徴2  
 実際に必要なレベルを的確に身につけて着させる。4教科・総合的な実力が必要。  
 特徴3  
 今後も長い学生生活に必要な能力も付けていきたい。  
 対応教師  
 プロからセレクトC: ご本人の性格を理解しうまく進めていけるそして、勉強のコツを教えることができる経験のある教師が進路も含めご案内していきます。

## ◎ Data Mining

入試データ&ポイント	平成21年度は募集人数240人に対し、受験者数499人、合格者315人、合格最低点(男)95/160点。(女)100/160点 ポイント: ・出願時に受験科目4教科型(国算理社)または3教科型(国算理)を選択。・総合点の算出方法は4教科受験型は3教科(国算理)の合計の3分の4倍と、4教科合計のうち高いほうの得点を総合点とする。3教科型受験は、合計の3分の4倍を総合点とする。・入試では最低65%の得点率(できれば70%)が必要。
算数	試験時間40分。目標点数28/40点。・小数や分数の計算問題が良く出される・特殊算の文章題は特に旅人算や相当算は例年良く出題されている。・図形については辺の比と面積とに関する問題、複合図形の面積や移動図形の面積、規則性を考えて解く問題なども出題されている。・問題数は多くないが1題解くのに時間がかかるため計算力は必須。出題分野: 計算問題(四則混合計算、分数の乗除)、一文問題(割合、時間の計算、植木算、和差算、相当算、面積、四捨五入)、応用文章(特殊算、立体図形、平面図形、場合の数、規則性、推理問題)
国語	試験時間40分。目標点数28/40点。・長文は物語、論説文、説明文、随筆とさまざま。長い文章は毎年1題。そのほかは詩・短歌が出題される。難解な読解問題が中心。内容を読み取る力をつけるとともに、登場人物の気持ちを考えながら読む習慣をつけることが大切。・語句問題はことわざ、慣用語など暗記物はあまり出題されない。量も多くて5%程度。熟語のつくりなど熟語関係の問題がよく出される。・文法は出題率が高く、中学校で習う文法用語を使って出題される。
理科	試験時間40分。目標点数28/40点。各領域から広く出題。生物分野からの出題は毎年難しくなってきた。 (動植物の分類について、動植物のからだのつくりやはたらきについてなど)。一方で他の分野からの出題は標準的な内容。(物理: 電流、てこ、力、ふりこ、物の運動など。化学: 気体や水溶液の性質を理解する。地学: 天気図の見方に注意する。) 出題分野: 物理分野2、生物分野2、地学分野2、化学分野2
社会	試験時間40分。目標点数28/40点。・年度によって異なるが全体に地理・歴史の配分がやや多くなっている。また、形式としては選択式・正誤判断を問う問題が多い。標準的な問題もあるが、学習してきた事柄を中心にじっくり考えたり、推理力を働かせたりする難易度の高い問題も多くなってきた。(地理: 日本各地の自然や産業、都道府県や都市に関する問題。歴史: 各時代の出来事、それにかかわった人物について出題。公民: 最近の重大な出来事を基に政治経済全般について出題される。) 出題分野: 地理2、歴史2、公民1(公民: 日本国憲法を中心に政治についての出題が多い。最近のニュースや話題について関連する知識を身に付ける必要がある。)